

本号からRRRは誌面を一部改訂いたしました。表紙のデザインを変更し、特集記事のタイトルを掲載しました。特集記事にはコンセプトを示した扉頁を新たに設け、各記事の冒頭に概要を載せたり内容を補足するコラムを設けるなど、専門外の読者にも親しんでいただけるよう誌面にさまざまな工夫を盛り込みました。また、特定の鉄道技術の発展の系譜と今後の展望を解説する「鉄道技術 来し方行く末」や、鉄道総研が所蔵する過去の貴重な技術資料や装置などを紹介する「鉄道総研の技術遺産」など、鉄道技術に関する読者のご理解を深めていただくための新たな連載記事をスタートさせました。

改訂後初となる本号では、「鉄道固有技術」を特集しました。

車輪とレールの接触問題など鉄道技術の基本に帰る課題について、鉄道総研の最近の研究開発成果を中心にご紹介いたしました。この春、鉄道に関連するお仕事に就かれた新入社員の皆さまにもご興味を持っていただけたら幸いです。

鉄道総研の最新の研究開発成果や国内外の鉄道技術動向を分かり易く解説、発信する鉄道技術情報誌として、RRRは今後とも読者の皆さまのお役に立てるよう全力を挙げてまいります。今回の改訂につきまして、皆さまからの忌憚のないご意見をお待ちしております。今後ともRRRの編集にご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。(Y. N.)